

第 122 回 グループホーム忘れな草 運営推進会議記録

実 施 日 時		令和 8 年 9 月 24 日（木） 午前 10 時 30 分				
場 所		ケアハウスえんれい草				
出 席 者		町内会役員代表：山中様 地 域 住 民 代 表：松田様、久保様 利 用 者 代 表：荒井様(忘れな草)、勝部様（えんれい草） 利用者家族代表：阿部様(えんれい草) 市 職 員 代 表：本田様 えんれい草職員：小笠原 忘 れ な 草 職 員：吉村、家納				
前回からの継続課題		☐ ・ 有				
活 <						

		2 階	7/27（月） 13：05 頃 76 歳、女性 要介護 5	居室より音が聞こえ訪室すると、ベッドとタンスの間に座り込んだ状態で転倒しているところを発見する。センサーのスイッチは入れ忘れていた。本人より「頭を打った」と言われるが、変色や腫れはなし。居室で休まれるときには、常にセンサーのスイッチ入れ忘れがないよう細心の注意を払う。		
		1 階	8/5（水） 18：25 頃 81 歳、女性 要介護 2	居間のソファから立ち上がり、2～3 歩歩かれたところで転倒される。「右足がカクッとなった」と本人話される。ソファに座ってもらい足首等身体確認行うが、「痛みはない」と話される。靴の踵を踏まれていたため、足元が不安定になっていたと思われる。きちんと靴を履かれているか、足元の確認を行う。		
		2 階	8/11（火） 7：01 頃 84 歳、女性 要介護 2	朝食の最中、突然のけ反った後に脱力されたため、すぐに声掛け行うも、すでに意識なし。顔色不良・口唇のチアノーゼが見られたため、誤嚥による窒息状態と判断し、すぐさま救命処置・救急要請を行う。救急隊の指示により、救命措置を行うも異物は取り除けず。その後、救急車にて異物は取り除かれ、深川市立病院へ搬送されるが、その日のうちに帰所される。肉団子を噛まずに丸呑みしたことが原因と思われるため、今後は副食をカットし提供する。		
		2 階	8/14（金） 2：28 頃 85 歳、女性 要介護 3	センサー感知にて訪室すると、床で左側を下に横たわっているところを発見する。本人に状況確認すると「布団から落ちたようだ」と話される。身体確認行くと「左頬が少し痛む」とのことで、右肩の痛みも軽度にみられたが、可動には問題なく腫れや変色もなし。こまめに巡回し、落ちないような位置で寝ていただけるよう見守り・声掛け行う。		
		1 階	8/17（月） 11：30 頃 88 歳、男性 要介護 1	昼食配膳時にスタッフが右腕の変色を発見する。紫色で薄っすら引っ掻いたような跡もみられた。本人に聞くも原因など詳細不明。ガーゼ保護するが、気になって取ってしまうため、触らないよう都度声掛けし様子を見る。		
		スタッフ関係 （研修など）	参加日	研修名		研修先
			ありません			
助 言 ・ 要 望	【質問・要望など】					
他	次会議までの 継続課題	無 ・ 有				
	次回開催予定	令和 8 年 11 月 26 日(木) 10 時 30 分 場所：えんれい草 2 階相談室				